

2016 年度韓国派遣留学 留学体験レポート

21015057

佐々木花純

今回、約4か月間、韓国のソウルにあるキョンヒ大学に留学した。その中で韓国ならではの体験や気づいた事について、4つ書きたいと思う。

まず、1つ目は食事についてである。韓国は辛い食べ物が多くある。私は、特別辛い物が苦手なわけでもないので、ほとんどのものはおいしく食べる事ができた。しかし、たまに想像以上に辛いものがあった。私が体験したのは、カレーである。見た目は日本と同じであったが、涙が出るくらい辛かった。同じ店に再び行ったら、唐辛子のマークが小さく描いてあった。それ以後は、辛い味の表記や唐辛子のマークがあるかどうか注意して見るようになった。また、韓国は日本と比べて食事を1人ではなく複数で食べる文化が強く、食堂などでは鍋や鉄板焼きなど大勢で食べる事が前提の料理が多くあった。さらに、かき氷も大きく2人か3人で食べるサイズが通常サイズであった。

2つ目は、性格である。性格は人それぞれではあるが、韓国の人たちのざっくりした性格は外国人として生活して感じたものがある。積極的でありあまり怯まないところである。私が明らかに日本人だとわかっていても老若男女問わず道を尋ねて来た。最初のころは少し戸惑っていたが、片言で答えても笑顔で「ありがとう」と言ってくれることに平等に接してくれているようで嬉しかった。

3つ目は、政治へ関心が高いことである。留学中に朴槿恵大統領とチェ・スンシルの問題が起こり、デモが毎週土曜日の夕方に行われていた。チューターとして出会った韓国人の大学生も参加したと行っていた。ある土曜日にはデモから帰るところだと思われる小学校低学年くらいの男の子がプラカードを持ってお父さんと電車に乗っていた。日本でも以前、憲法改正について国会前で抗議デモが起こったが、規模や年代の幅は韓国のほうがかなり大きいと思った。

4つ目は、日本との違いである。韓国に行って初めて知ったことのみについてここでは述べたいと思う。1つは喫煙者が多いことである。大学では、朝から喫煙所に多くの学生が集まってタバコを吸っていた。以前、韓国では女性がタバコを人前で吸うことはあまり良く思われていないと教わったが女性もかなり居て驚いた。歩きタバコも多く、道には吸い殻がたくさん落ちていた。もう1つは接客サービスがあまり重要視されていないことである。アルバイトの賃金が安いとか、携帯電話を使っていたり、洋服店にも関わらずお弁当を店内で食べていたりしていた。しかし、デパートなどや少し高めのレストランなどでは日本と同じようなサービスを受けられた。韓国は、値段に準じたサービスをしていると考えれば日本は、過剰サービスをしているのかもしれないと感じた。

今回、留学して韓国対して抱いていた偏見が誤解だと気づいたり、知らなかった韓国の一面を知ったりすることができた。また、韓国で驚いたときに日本はどうだろうと比較し、より日本を考える時間にもなったと思う。